

福島市職員 ひとり1改善・1改革運動 「かえるチャレンジ」



令和7年4・5・6月分
月間賞 受賞一覧





《改善》 公用車運転日誌の電子化

〈取組内容〉

公用車運転日誌をLoGoフォーム（オンライン申請）で記録するよう変更しQRコードを記載した記録カードを課の職員に1枚ずつ配布、公用車内にも設置した。

〈効果〉

- ・ 記入する時間、集計する時間が短縮され、紙の使用量が削減された。

《改善》 起こり得る事務誤りとその防止方法を 記載した業務フロー作成（就学援助事務）

〈取組内容〉

就学援助事務では、学校教育課と学校で個人情報に記載されている書類のやり取りが多いが、起こり得る事務誤りに充分に対応できない状態であった。業務フローと送付者リストを作成し再発防止策を確立した。

〈効果〉

- ・ リスクを可視化することで事務ミス防止となった。
- ・ 業務フローを職場内で共有することにより、業務の安定化となった。

《改善》 飯坂消防署敷地内での交通事故防止対策について

〈取組内容〉

消防署敷地内での交通事故防止対策として、出入口に停止線を設置し、縁石などに反射材を設置した。不要物を再利用して駐車場の案内や一時停止の案内板を作成した。

〈効果〉

- ・費用をかけずに交通事故のリスクを軽減した。

《改善》Dドライブ内で動作するAI（RAG）の構築

〈取組内容〉

過去の答弁を参考にする際、情報が曖昧な場合には検索に時間を要していたが、AI（RAG）を活用し、答弁内容を学習させることにより、答弁の有無や過去の全ての答弁内容の一括検索を可能とした。

〈効果〉

- ・ 曖昧な検索も可能となり、事務の効率化となった。

《改善》庁舎内広告掲載による自主財源の確保

〈取組内容〉

1階のエレベーターの外扉4か所、市民課窓口上部壁面5か所を広告枠として設置事業者を募集した。

〈効果〉

- ・ 広告枠買取料 として年間1,900,800円の収入増となった。
- ・ 民間事業者の事業活動を促進、地域経済の活性化も図ることができた。

《改善》 財務会計事務の効率化 (少額随契の兼命令化ほか)

〈取組内容〉

10万円未満の物品調達発注について、財務規則及び事務決裁規定を改正し、支出負担行為伺書兼支出命令書へ変更した。また、委任検収の方法についても簡素化し、物品の発注についても業者選定条件を緩和した。

〈効果〉

- ・ 作成する財務帳票や、審査や合議、送達業務が削減された。